

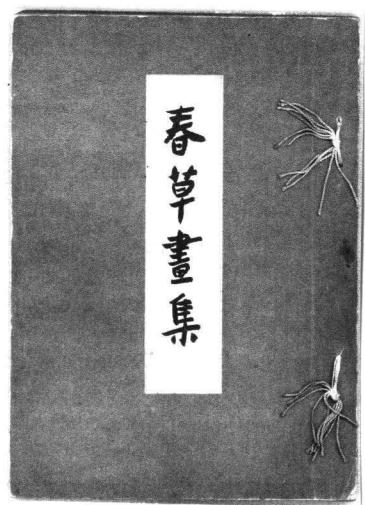
裴田春草

はいだしゅんそう。明治七年九月、一十九日筑摩縣飯田生れ。

十四年九月十六日死（一八七〇一九一一）。本名二寅治。前號春興、蘭天
秋江、鶯走、黃麟。飯田小學校時代の圖畫教師の中村不折、同窓の樺
口龍嶽（おほたけ）、龍嶽とは後年共に藝術團演劇會の會員となる。年會。

明治二十八年東京美術學校繪畫科卒。翌年母校教員及び帝室博物館謹
託として古畫鑑賞に従事。三十一年留學於心齋、橋本雅邦等の日本美術
院大講義、正月並びに華美講義とされる。三十六年横山大觀とイング行、翌
年大正、大觀等にアメリカに渡り、一九一九年ヨーロッパ、ワシントン等の大
觀と並び波瀾萬丈の歴史的経験をする。その後歐洲を漫遊して三十八年歸
國。翌年日本美術院第一回大正城野五郎（さとうきやう）の移す「大正、大觀等
と同地」へ移住。四十一年第一回文展、四十二年の第三回展など夫々、一書画
の實。四十三年春草集とされる。

『春草集』（春草集）（春草集）（春草集）（春草集）（春草集）



春草畫集